



令和4年7月27日発行 vol: 4

【本日第2895回例会】★テーマ「クラブフォーラム」 出席員会・職業奉仕委員会

会長挨拶

会長 井川 潤



本日の卓話は会員卓話で斎藤光人さんと斎藤武さんのW 斎藤さんによるM&Aについてのお話です。M&Aとは Mergers (合併) & Acquisitions (買収) の省略で文字通り「企業の合併・買収」のことです。

M&A ではないのですが、実は私も34歳の時(2004年)に父親の会社を売却した経験があります。その2年後に、今の飲食店を始めました。

少し私の父親の話になりますが、太平洋戦争の大阪空襲で両親を亡くし戦争孤児となり、終戦後、大阪の高槻市にある聖ヨハネ学園に引き受けていただき、小学校から夜間高校の10年近くをお世話になり、その後、天満にある靴屋に就職しました。その学園で10年間お世話になった学園の先生が後の人生を変えた方でした。その方は、現在は三井住友グループになりましたが、プロミスの創業者で神内良一さんという方でした。その方はサラリーマンに無担保で融資をする業態(当時サラリーマン金融、その後消費者金融)に早くから目をつけ、私の父を誘って2人で起業しました。始めは資金面で苦労もあったよう

ですが、有言実行の方で全国展開・海外進出・その後東証1部上場と一時代を築かれました。

父は昭和52年に独立、埼玉県大宮市に起業。中小企業としては、27年間うまく会社を大きくされたかなと思います。順調に来ていた会社も、消費者金融大手4社の寡占化となり、さらに追い打ちをかけるように平成16年2月20日にある判決が最高裁で出ました。その判決は少し前にブームになった過払い返還請求を決定づけるものでした。

今後は過払い金請求が増え会社がやっけていけなくなる時期が必ずくる。このままでは、借入金(当時44億)の返済、従業員雇用、特に退職金も支払えなくなり社員皆に迷惑をかけてしまいます。同年2月末には売却を決断。そこで会社売却のお願いに上がったのが、先ほどのプロミスの神内さんでした。ある夜中に、突然父親から会社売却する事になったから、あとはプロミスと実務的な事はよろしくと電話で連絡がありました。当時は、純利益もかなりあったので信じられなかった思いでした。

売却先による3か月のデューデリ(買収監査)があり、その間、社員には上場会社のプロミスグループに行く道もあると言いながら社員のモチベーションを上げてきましたが、結果的に債権のみの売却という形で、期待させた社員を裏切る形となりました。社員に対しては多くの退職金を支払いましたが、平均年収1500万円の社員達に取ってみれば数ヶ月の給料にしかならず、かなり不満だったのではないかと思います。平成16年8月末日、会社最後の日、社員8名・準社員40名との最後の終礼は皆で涙したのを覚えています。そして、全従業員が去ったあとの無人のオフィスで1人、昔の事を思い出し男泣きした事は今も忘れられません。

その男泣きした場所は、今焼肉屋になっています。その後、元従業員とは疎遠で、そんなもんかなと感じました。

今日は、W 斎藤さんの良いM&Aのお話を皆さまお楽しみください。

浦和北ロータリークラブ週報



創立/昭和36年12月1日 承認/昭和36年12月29日創立

事務局/〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-1-2 YK21 2F

電話/048-813-8075 FAX/048-813-8076

例会日/水曜日 点鐘 12:30

例会場/ロイヤルパインズホテル浦和3Fゴードルーム

会長/井川潤 幹事/宮島誠 会報委員長/白岩智

office@urawakita-rotary.jp <http://urawakita-rotary.jp>

ホームページに会報を掲載↑